

提案事業と各課からの回答一覧

番号	50周年記念事業(案)の名称	50周年記念事業(案)の具体的内容	各課回答	担当課(回答課)
1	世界と日本と北本市「当時」と「これから」50年～大阪万博から～	50年前。大阪万博前後の世界や日本の様々と北本市のそれをパネル展示する。又、北本市に在住し50年の人々に「当時」と「これからへの期待」をインタビュー。北本市に生まれ、育って50年。生粋の北本っ子にも同じことを。2つに該当する市民1人につき、お祝い金(?)を500円贈呈する。のち、「広報 きたもと特別版」として各家庭に配布する。	市庁舎ホールを会場に、まちの移り変わりを示す各時代の写真パネルや市内の遺跡から出土した土器等の展示を実施することを計画しています。予算編成を通し、引き続き検討してまいります。	文化財保護課
2	高尾さくら公園「展望カフェテラス」	北本駅から西へ一直線に行くと「高尾さくら公園」につながる。終端の荒川沿いのテラスに立つと雄大な景色が広がり、富士山から秩父連山、そして煙たなびく浅間山などが一望される。VISTAの景観手法を彷彿させる、ときめきのレイアウトは北本市の顔であり、先人たちの情熱の遺産でもありと感じている。そして、この周辺にはみどり豊かな「野外活動センター」や「自然観察公園」なども点在し、好天時にはこのテラスで読書や楽器の練習などを行っているのを見かけますが、最近では周囲の樹木が茂り、景観が狭小化してきているし、この付近には自販機やコンビニも無いため、喉を潤すことも容易ではない。私は今般の市政50周年事業の一環として、このさくら公園のテラスの付近に、もう一段高所の「展望カフェ」を建設して広範囲を見渡せるようにしてそこに満洒なカフェなどを併設し、この雄大なパノラマ絶景を堪能しながら憩える施設を提案したい。市のイメージアップと誘客により活性化を図り、自然と緑のプロモーション効果も期待されると確信します。	【産業観光課】 カフェの設置については、多額の費用を伴うものであり、また、ニーズの把握、課題の整理等が必要なことから、それらについて調査・研究します。 【都市計画課】 子供公園は46年、総合公園は25年と供用開始から30年以上経過した公園が多く、園内の施設や遊具は同様に年数を経過している状況にあります。このように、公園施設の老朽化が進む中で、財政上の理由などで適切な維持補修、もしくは更新が困難となり、安全で快適な利用を確保するという都市公園の本来の機能発揮に関わる根幹的な問題となっています。そのような状況の中、新たに展望台を設置するためには3千万円程度の工事費と今後の維持管理経費が必要となり、さらに厳しい状況となることから、検討した結果「展望カフェテラス」を設置するための予算計上は行いません。	産業観光課 都市計画課
3	プラネタリウムでの癒し	場所は地元の方に多く利用され浸しんでいる北本キャンプフィールドにて自然に囲まれた雰囲気の中プラネタリウムに癒され余韻の覚めない非日常を感じてもらえる ※雨天でも開催できる事 イベント後も北本キャンプフィールドで使用し北本市もPRとしてアピールできるのではないかと思いますご提案致します。	MEGASTAR CLASSでプラネタリウムを投影するには、白などの明るい色の壁や天井や、真っ暗な環境が必要になりますが、野外活動センターの建物の壁は木目になっており、かつ真っ暗にするのが難しいという課題があります。また、同様に大屋根への投影についても真っ暗にできないという課題があります。今後、課題も含めて指定管理者と協議し、自主事業等でプラネタリウムを購入ではなくレンタル等で実施できるか検討していきます。	生涯学習課
4	トマトの都市(まち)ききたもと>の「トマトの栽培検定」	1.数ある野菜の中で、特に機能性成分の豊富なトマトを市内各家庭の庭やベランダで多くの市民の手で栽培し、自らの健康を得ようとするもの。 2.市内の各家庭(ファミリー)、各組織(グループ)、各学校(スクール)等、小さな1坪菜園からグループ菜園まで、市民各層での参加を募る。 3.自らで栽培するものゆえ、オーガニック(無農薬・無化学肥料栽培)が中心となると思われるが、いまだにその知識は行き渡ってはいない。 4.オーガニック栽培がすべてではないが、無農薬栽培に越したことはない→オーガニック栽培の知識を得るところ(セミナーの開催)から始める。 5.栽培した結果を評価し、検定結果を表彰し、モチベーションを高める。 評価ランク例 初級・中級・上級・特級/3級・2級・1級・特級 高評価を得た上位検定者の特権 例 ・表彰状の発行/賞品の贈呈 ・認定書の発行(免許書のサイズ?) ・検定上級者は、桜国屋(直売所)への販売権を有する ・検定特級者は市内外からの契約栽培得意先への出荷をも可能とする ・市内参加、ファミリー、グループまたはスクールへの指導者として認証する	事業提案者に内容を確認するとともに、事業実施に向けて検討しています。	産業観光課
5	夢をふくらませ希望のたねをとどけよう!～北本から愛をこめて～	市民で一斉に大空へ風船を飛ばす 趣旨 一人一人の想いを大空へ羽ばたかせる。種を受け取った方が(市内外、県外)種を植え、笑顔を送る。北本市を不特定多数の方々から知っていただく。 内容 風船の持ち手部分にそれぞれの夢や希望願い事を書く。持ち手部分にヒマワリの種を数個つける。ヒマワリのイメージ——元気!明るい!笑顔! ヒマワリの種は桜国屋裏のヒマワリ畑で農業青年会議所の皆さんが愛情込めて育て上げたヒマワリの種を採取する。風船を拾った方がヒマワリの種をその土地に植え、花が咲き、笑顔になる 笑顔繋ぎを繋げる。 風船の持ち手の紙に 北本市 と明記し、市役所または観光協会の電話番号、メールアドレスを載せ、受け取った方から連絡がくるようにする—受け取った方からのメッセージを公表する。 風船は環境にやさしいエコ風船を使用する。 エコ風船 Ecoloveエコロヴィー は太陽光に当たると生分解される素材でできた環境にやさしい風船として、世界中で採用されているリリース用の風船。 飛ばす場所は 水辺プラザ、市役所等。市内小中学校・北本高校、子どもたちがそれぞれ通っている学校の校庭。それぞれの場所で同時に一斉に飛ばす。	植物の種を人工的に飛ばすことにつきましては、畑等の植生に影響を与える等のおそれがあるため、実施は難しいものと考えます。50周年記念事業として実施するイベントにおいて、ランタンを飛ばす事業を別途検討しています。風船を飛ばすことについては、多くの市民の方が参加することのできるイベントであると考えられますので、情報共有を行い、予算編成を通し、引き続き検討を行います。	市長公室
6	ギネスに挑戦!北本トマトカレー	市内小中学校の給食にて児童・生徒が同日同時刻に北本トマトカレーを食べ、その人数の記録作成に挑戦するもの。	ギネスワールドレコーズのホームページによると、「決して認められることのない記録の種類」の項目に「飲食した人数」として、「飲食をしている人数にまつわる記録を認めていません」とあることから、挑戦は難しいものと考えられます。	産業観光課
7	花と森をつなぐ北本セラピーロード	高尾さくら公園～まほろばの郷(キャンプ場)～水辺プラザ公園～荒井橋をくぐり、河川敷を巡って自然学習センターまでを繋ぐ遊歩道の整備 ※街の観光事業として ※河川敷を整備し、ごみ投棄を防ぐ	【産業観光課】 ごみの投棄については認識しています。現在実施している森林セラピー事業を通じて、御提案の遊歩道の必要性について調査・研究します。 【都市計画課】 北本水辺プラザ公園付近から自然学習センター付近までの遊歩道について、これまで実施している植樹した桜周りの除草等の維持管理(荒川桜植栽地他除草業務 50万円)を継続し、来年度は老朽化している桜の植え替(樹木等手入委託料)えを検討しています。(ノメイヨシ/H2.5運搬植樹鳥居込み30,000円/本×3本×消費税=99,000円)	都市計画課
8	アマチュア無線を利用した北本市制50周年事業	○北本市制50周年記念特別局を開設し、アマチュア無線の交信を通じて、北本市が市制50周年を迎えることをPRする。 ○小中学生が、国際宇宙ステーションに滞在する宇宙飛行士とアマチュア無線を通じて交信する。 ○体験局制度を活用して、無線通信に関心のある市民に無線通信を体験させる	北本市制50周年事業については、北本市市制施行50周年記念事業基本方針に基づき、本市の特徴を生かした記念事業を行うこととしています。アマチュア無線について、本市の特徴を生かした事業としての展開が可能か引き続き検討してまいります。	市長公室
9	ウサギの地形のアピール	北本市の地図形をみると頭を右にしたウサギの形に似ている。ちなみに桶川市は犬の形に似ている。ウサギは仏教思想のジャータカ物語に出ているように、仏様に供えるものがないと言っており、自らの体を提供するよう、優しい性格をしている。北本市はウサギのような優しい街であることをアピールした事業があればいいと思います。	ウサギの形を生かしたアピールについては、本市の特徴を生かした内容と考えられますので、北本市制50周年のタイミングでどのようにアピールしていくか引き続き検討を進めてまいります。	市長公室
10	市の草花のPRについて	最近北本市の自然に関するPR動画が沢山アップされており、北本市の自然の豊かさを改めて感じています。そこで、市の花・木である菊や桜のように、自然の中にある草花も市の草花や市の四季折々の代表的な自然などと銘打ち、積極的にPRできないでしょうか? 50周年なので50種類の草花・昆虫紹介なども良いと思います。	市内の自然環境の良さについては、引き続き動画などを通じてPRを行うとともに、桜や菊などに加え、市を代表する草花、鳥、昆虫などについて市民の皆様から意見を聞きながら更なるPRができるよう検討を進めてまいります。	市長公室